

2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2026年5月8日

上場会社名 オーナンバ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5816 URL <http://www.onamba.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木嶋忠敏  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理統括部長 (氏名) 熊谷康浩 (TEL) 06-7639-5500  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	11,547	7.6	560	0.1	567	24.2	367	16.6
2025年12月期第1四半期	10,730	△3.7	560	39.4	457	△12.6	315	△9.0

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 1,022百万円( —%) 2025年12月期第1四半期 △351百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	30.18	—
2025年12月期第1四半期	25.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	42,534	29,168	67.0
2025年12月期	42,051	28,409	66.0

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 28,509百万円 2025年12月期 27,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	20.00	—	21.00	41.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,500	5.7	900	△19.6	900	1.2	600	0.8	49.23
通期	47,000	5.8	2,700	3.8	2,700	10.6	1,900	25.4	155.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期 1 Q	12,558,251株	2025年12月期	12,558,251株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	371,588株	2025年12月期	371,588株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期 1 Q	12,186,663株	2025年12月期 1 Q	12,186,663株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 株式等の状況	4
(1) 株式の総数等	4
(2) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(3) 議決権の状況	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### 1 当第1四半期における業績全般の動向

当第1四半期連結累計期間（2026年1月1日～2026年3月31日）における当社グループの経営環境は、ロシア・ウクライナ紛争の長期化、中国市場の低迷、原材料価格の高騰や為替相場の変動に加え、中近東情勢の緊迫化や米国の保護主義政策に伴う世界経済への影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況において、当社グループでは、中期経営計画「PROGRESS 2026」の下、エネルギー新時代に即した「グローバルな総合配線システムメーカー」の実現に向けて、成長戦略、生産戦略、経営基盤強化と資本コストを意識した経営に、着実に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績について、売上面では、日本およびアジア（日本除く）の産業機器市場において需要が回復しました。あわせて円安による為替換算上の理由にて売上高が増加しました。その結果、当社グループの売上高は前年を上回りました。

利益面では、北米市場におけるペソ高による為替変動等が利益を圧迫しましたが、売上高の増加による増販益に加え、品種構成の改善やグローバルでの原価低減活動における利益の改善に取り組みました。その結果、営業利益は前年と同額になりました。一方、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、為替が前年期末より円安方向に動いたことにより前年を上回りました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11,547百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は560百万円（同0.1%増）となり、経常利益は567百万円（同24.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は367百万円（同16.6%増）となりました。

#### 2 セグメントの業績

期別 セグメント別	売上高			営業利益		
	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減率 (%)	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減率 (%)
日本	5,720	6,218	8.7	347	390	12.6
欧米	3,112	3,119	0.2	38	△12	—
アジア (日本を除く)	1,897	2,209	16.4	175	177	1.1
消去	—	—	—	0	5	—
合計	10,730	11,547	7.6	560	560	0.1

(注) 増減率につきましては、表示単位未満を四捨五入しております。

#### ①日本

当第1四半期連結累計期間は、産業機器市場における需要の回復により、ワイヤーハーネス・電線を中心に売上高が増加しました。その結果、日本での売上高は6,218百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

利益面では、売上高の増加による増販益に加え、品種構成が改善した結果、営業利益は390百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

#### ②欧米

当第1四半期連結累計期間は、北米における自動車関連市場での需要は堅調に推移したものの、その他当社関連市場での売上高が減少しました。一方、円安による為替換算上の理由により売上高が増加しました。その結果、欧米での売上高は前年並みの3,119百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

利益面では、メキシコ工場での生産性の改善に取り組むも、北米市場におけるペソ高による為替変動等が利益を圧迫しました。その結果、営業損失は12百万円（前年同期は38百万円の営業利益）となりました。

#### ③アジア（日本を除く）

当第1四半期連結累計期間は、中国市場の需要は引き続き低調に推移しているものの、産業機器市場における需要が回復しました。その結果、アジアでの売上高は2,209百万円（前年同期比16.4%増）となりました。

利益面では、売上高は増加するものの、コスト競争の激化などの影響により、営業利益は前年並みの177百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資産>

資産合計は、42,534百万円（前期末比482百万円増）となりました。主に、現金及び預金1,345百万円、棚卸資産574百万円及び投資その他の資産が579百万円増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が1,822百万円減少いたしました。

<負債>

負債合計は、13,365百万円（前期末比276百万円減）となりました。主に、繰延税金負債が96百万円増加し、支払手形及び買掛金85百万円及び短期借入金が256百万円減少いたしました。

<純資産>

純資産合計は、29,168百万円（前期末比759百万円増）となりました。主に、利益剰余金111百万円、その他有価証券評価差額金300百万円及び為替換算調整勘定が327百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間、通期の業績予想につきましては、2026年2月10日公表の業績予想から変更はありません。

2. 株式等の状況

(1) 株式の総数等

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	45,000,000
合計	45,000,000

② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2026年3月31日)	提出日現在発行数(株) (2026年5月8日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	12,558,251	12,558,251	東京証券取引所 スタンダード市場	単元株式数は 100株であります。
合計	12,558,251	12,558,251	—	—

(2) 発行済株式総数、資本金等の推移

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2026年3月31日	—	12,558,251	—	2,323,059	—	2,031,801

(3) 議決権の状況

① 【発行済株式】

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	2026年3月31日現在
			内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 371,500	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,162,700	121,627	—
単元未満株式	普通株式 24,051	—	—
発行済株式総数	12,558,251	—	—
総株主の議決権	—	121,627	—

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が、2,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数20個が含まれております。

② 【自己株式等】

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	2026年3月31日現在	
				所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) オーナンバ株式会社	大阪市中央区南久宝寺町 4丁目1番2号	371,500	—	371,500	2.96
合計	—	371,500	—	371,500	2.96

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,228,236	8,574,002
受取手形、売掛金及び契約資産	10,971,781	9,148,849
商品及び製品	3,506,134	3,688,099
仕掛品	1,188,903	1,302,336
原材料及び貯蔵品	4,990,249	5,269,588
その他	1,360,632	1,189,068
貸倒引当金	△4,064	△3,060
流動資産合計	29,241,873	29,168,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,862,368	2,846,942
機械装置及び運搬具（純額）	2,661,276	2,641,076
土地	2,391,122	2,393,669
建設仮勘定	114,755	136,342
その他（純額）	884,750	866,837
有形固定資産合計	8,914,274	8,884,869
無形固定資産	424,490	430,060
投資その他の資産		
投資その他の資産	3,534,650	4,114,021
貸倒引当金	△63,514	△63,517
投資その他の資産合計	3,471,136	4,050,504
固定資産合計	12,809,901	13,365,435
資産合計	42,051,774	42,534,319

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,842,469	6,757,101
短期借入金	896,410	640,081
未払法人税等	220,483	256,910
賞与引当金	337,321	394,125
役員賞与引当金	25,950	9,600
製品改修引当金	4,655	7,531
品質保証引当金	245,714	261,906
その他	1,879,669	1,814,138
流動負債合計	10,452,672	10,141,395
固定負債		
長期借入金	1,177,460	1,132,942
繰延税金負債	657,548	754,273
退職給付に係る負債	771,579	779,391
その他	583,396	557,672
固定負債合計	3,189,984	3,224,279
負債合計	13,642,657	13,365,675
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,323,059	2,323,059
資本剰余金	1,741,658	1,750,312
利益剰余金	18,387,494	18,499,357
自己株式	△160,589	△160,589
株主資本合計	22,291,623	22,412,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,102,467	1,403,179
為替換算調整勘定	4,364,633	4,691,812
退職給付に係る調整累計額	△2,826	1,954
その他の包括利益累計額合計	5,464,273	6,096,945
非支配株主持分	653,221	659,557
純資産合計	28,409,117	29,168,644
負債純資産合計	42,051,774	42,534,319

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	10,730,318	11,547,478
売上原価	8,577,202	9,246,542
売上総利益	2,153,116	2,300,936
販売費及び一般管理費	1,592,547	1,740,033
営業利益	560,569	560,902
営業外収益		
受取利息	14,332	11,158
受取配当金	9,750	11,250
持分法による投資利益	12,365	—
その他	20,313	25,095
営業外収益合計	56,760	47,504
営業外費用		
支払利息	11,465	12,224
持分法による投資損失	—	19,364
為替差損	139,429	816
その他	9,201	8,004
営業外費用合計	160,095	40,409
経常利益	457,234	567,997
特別利益		
固定資産売却益	779	3,171
特別利益合計	779	3,171
特別損失		
固定資産処分損	636	279
品質保証引当金繰入額	—	10,774
特別損失合計	636	11,053
税金等調整前四半期純利益	457,378	560,115
法人税、住民税及び事業税	190,246	273,003
法人税等調整額	△49,813	△86,013
法人税等合計	140,432	186,990
四半期純利益	316,945	373,125
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,615	5,342
親会社株主に帰属する四半期純利益	315,330	367,783

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	316,945	373,125
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76,691	300,712
為替換算調整勘定	△598,747	343,568
退職給付に係る調整額	6,819	4,781
その他の包括利益合計	△668,618	649,061
四半期包括利益	△351,672	1,022,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△330,152	1,000,455
非支配株主に係る四半期包括利益	△21,520	21,731

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

(偶発債務)

当社が納入した特定の製品について不具合があるとの理由で、得意先からその製品の点検及び交換に関して発生した費用の負担を求められております。今後の協議結果によっては当社の連結業績に影響が生じる可能性があります。なお、現時点ではその影響額を合理的に見積もることは困難であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産にかかる償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	247,004千円	293,572千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア (日本を除く)	
売上高				
一時点で移転される財	5,412,220	3,112,686	1,897,283	10,422,190
一定の期間にわたり 移転される財	308,128	—	—	308,128
顧客との契約から生じる 収益	5,720,348	3,112,686	1,897,283	10,730,318
外部顧客への売上高	5,720,348	3,112,686	1,897,283	10,730,318
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,169,134	1,741	1,695,706	2,866,582
合計	6,889,483	3,114,427	3,592,990	13,596,901
セグメント利益	347,154	38,259	175,630	561,044

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	561,044
セグメント間取引消去	△475
四半期連結損益計算書の営業利益	560,569

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア (日本を除く)	
売上高				
一時点で移転される財	5,895,895	3,119,676	2,209,266	11,224,838
一定の期間にわたり 移転される財	322,640	—	—	322,640
顧客との契約から生じる 収益	6,218,535	3,119,676	2,209,266	11,547,478
外部顧客への売上高	6,218,535	3,119,676	2,209,266	11,547,478
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,219,790	3,001	1,802,083	3,024,876
合計	7,438,326	3,122,678	4,011,350	14,572,355
セグメント利益又は損失 (△)	390,915	△12,793	177,513	555,635

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	555,635
セグメント間取引消去	5,266
四半期連結損益計算書の営業利益	560,902

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。